

JA ユーザーマニュアル
バージョン 5.19



prismaTSlab

治療装置のディスプレイおよびり

LÖWENSTEIN
medical

目次

1	はじめに	3
2	製品概要および準備	4
2.1	患者室への固定割り当て（オプション）	4
2.2	メインウィンドウ	9
3	使用方法	12
3.1	prismaTSlabの起動	12
3.2	治療装置の手動選択	14
3.3	患者の選択	15
3.4	治療設定の実行	18
3.5	治療の開始・終了	25
3.6	加温加湿器をオン/オフ切り替え	25
3.7	装置内の治療データ削除	26
3.8	PSGテストの実行	26
3.9	レポートの作成	27
4	付録	29
4.1	技術仕様	29
4.2	識別表示とアイコン	29
4.3	適合宣言書	29

1 はじめに

このユーザーマニュアルには、prismaTSの操作に関する情報が記載されています。
このユーザーマニュアルには、prismaTSlabの操作に関する情報が記載されていません。

以下の情報については、別途インストールガイドをご覧ください：

- 使用目的および機能説明
- 安全上のご注意
- システム要件
- ネットワーク設定
- インストールおよびアップデート
- 機能点検
- こんなときは
- リモートメンテナンス
- 技術仕様



本ドキュメント内のスクリーンショットのソフトウェアバージョンが、インストールされているソフトウェアバージョンと異なる場合があります。

2 製品概要および準備

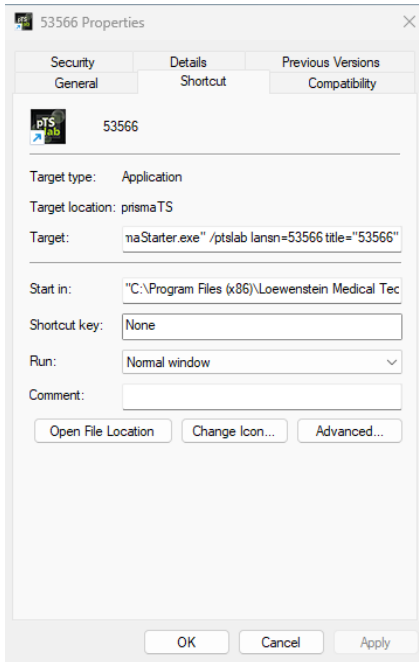
2.1 患者室への固定割り当て（オプション）

必要に応じて、患者室とprismaTSlabアプリケーションとの間に固定割り当て（1:1接続）を設定できます。例えば、1部屋（つまり1つの治療装置）につき1台のPCを利用できる場合、アプリケーション起動時に対応する患者室の治療装置が自動的に選択されるようにprismaTSlabを設定できます。これにより、各機器を手動で選択する必要がなくなるため、取り違えのリスクを減らすことができます。

2.1.1 治療装置WM100TDタイプの1:1接続の設定

患者室への固定接続は、ネットワークに接続されたモジュール（prismaCONNECTまたはprisma HUB）で設定します。固定接続は、モジュールに接続されている治療装置に関係なく、この通信モジュールに対してのみ確立されます。

1. デスクトップのprismaTSlabのショートカットを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
2. **ショートカット**を選択します。リンク先には、すでにターゲットパス（「C:\Program Files (x86)\Loewenstein Medical Technology\prismaTS\prismaTSlab.exe」など）が入力されています。



3. ターゲットパスのあとに使用中のモジュールのシリアル番号を入力してください。シリアル番号は、モジュールにある銘板を参照してください。患者室の名前を入力できます（オプション）。
4. 以下の表記に従ってください：
 [スペース] lansn=[モジュールのシリアル番号]
 [スペース] title="[希望する患者室名]"
 „title“はオプションです。




構文が正しいかどうか注意してください：引数の前後にはスペースを入れてください。=の前後にはスペースを入れないでください。例：

```
maTSlab.exe" lansn=04219 title="Raum 1"
```

5. 入力を保存するには**適用**を選択します。
6. 入力を保存してウィンドウを閉じるには**OK**を選択します。
7. 入力を破棄してウィンドウを閉じるには**キャンセル**を選択します。
8. デスクトップに作成したショートカットからprismaTSlabアプリケーションを再起動してください。
9. モジュールに接続されている治療装置が自動的に選択されているかどうかを確認してください。


10. .他の治療装置も患者室に固定接続するには、prismaTSlabのショートカットをコピーし、各モジュールのシリアル番号と、必要に応じて患者室名を入力してください。

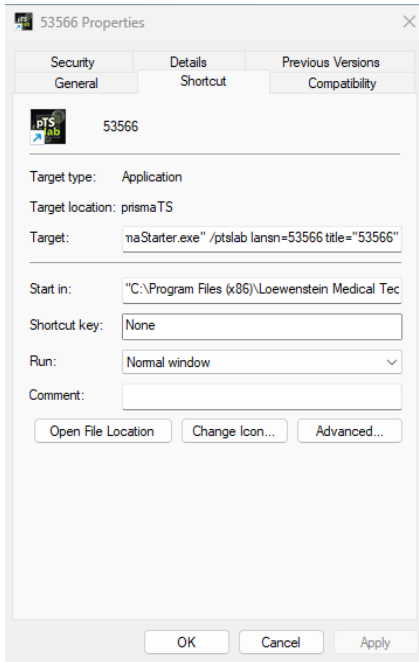
 装置の手動選択機能である(参照: [治療装置の手動選択 \[▶ 14\]](#))は使用できなくなります。メニュー > 装置の選択のオプションはなくなります。

2.1.2 SOMNO治療装置の1:1接続の設定

1. デスクトップのprismaTSlabのショートカットを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

2. **ショートカット**を選択します。リンク先には、すでにターゲットパス（「C:\Program Files (x86)\Loewenstein Medical Technology\prismaTS\prismaTSlab.exe」など）が入力されています。

 prisma装置とSOMNO装置の両方が同じ部屋に接続されている場合、まずprisma装置（lansn）が検索されます。存在しなければ、SOMNO装置（comport）が検索されます。



3. さらにWM100TDが存在している場合：ターゲットパスのあとに、モジュール prismaCONNECTのシリアル番号、またはモジュールprisma HUBを使用している場合はそのシリアル番号を入力してください。シリアル番号は、モジュールにある銘板を参照してください。
4. COMポートの番号を入力します。COMポートの番号は、Windows®のデバイスマネージャーを確認してください：
5. デバイスマネージャーを開く（Windows® 10の場合：スタート > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > デバイスマネージャー）。
6. ポート（COM & LPT）を選択します。変換ケーブルUSB-RS485が接続されている場合、COMポートの番号が表示されます。
7. 必要に応じて：患者室名を入力します。
8. 以下の表記に従ってください：
 - [スペース] lansn=[prismaCONNECTのシリアル番号]
 - [スペース] comport="COM[COMポートの番号]
 - [スペース] title="[希望する患者室名]"



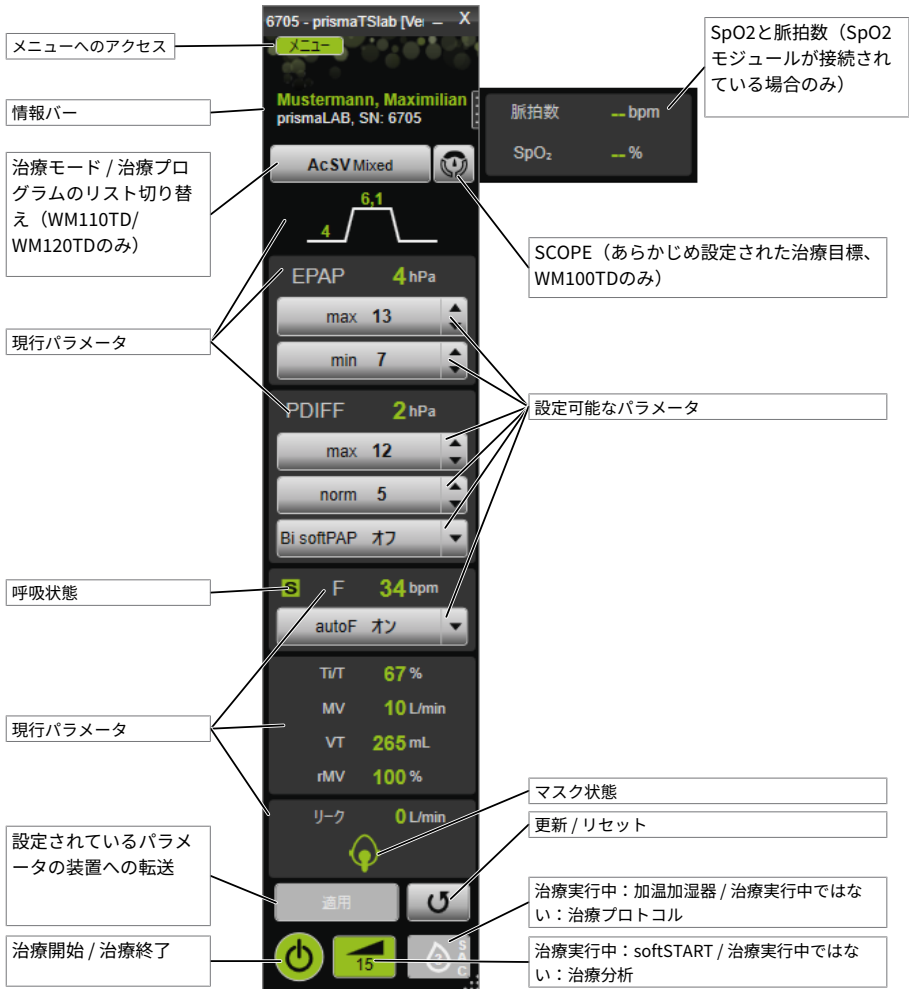
構文が正しいかどうか注意してください：引数の前後にはスペースを入れてください。=の前後にはスペースを入れないでください。例：

Ziel:

```
prismaTS\prismaTSlab.exe" comport=COM3
```

9. 入力を保存するには**適用**を選択します。
10. 入力を保存してウィンドウを閉じるには**OK**を選択します。
11. 入力を破棄してウィンドウを閉じるには**キャンセル**を選択します。
12. デスクトップに作成したショートカットからprismaTSlabアプリケーションを再起動してください。
13. モジュールに接続されている治療装置が自動的に選択されているかどうかを確認してください。

2.2 メインウィンドウ




ユーザーインターフェースは、選択した治療装置および治療モードによって異なる場合があります。



治療開始後、治療分析ボタンと治療プロトコルボタンがsoftSTARTボタンと加温加湿器ボタンに変わります。治療を終了すると、これらのボタンは元に戻ります。

2.2.1 メインウィンドウのアイコン


アイコン	名称	説明
	呼吸状態	S=自発
		T=タイミング誘導（呼吸をサポート）
		/=呼吸なし
	マスク状態	マスクの密着具合が良く、リークはありません
		マスクの密着具合が悪く、ラージリークがあり、治療効果が保証されません
	治療の開始・終了	治療が実行中
		治療は無効
	リセット/更新	装置から現在の装置設定を読み込んで、変更済みでまだ適用されていない治療モード、SCOPEおよび治療設定をリセットします。
	SCOPE（WM100TDタイプのみ）の選択	あらかじめ設定されているSCOPE（治療目標）が表示されます。
	加温加湿器 WM100TDタイプのみ：加温加湿器のオン/オフ切り替え。	加温加湿器がオン / 設定中の加湿レベル
		加温加湿器がオフ / 設定中の加湿レベル
		加温加湿器の水が不十分
		加温加湿器が接続されていない
	治療プロトコルの印刷 (参照: 治療プロトコルの印刷 [▶ 24])。)	治療開始後、治療プロトコルボタンが加温加湿器ボタンに変わります。 治療を終了すると、このボタンは元に戻ります。
	softSTARTのオン/オフ切り替え	治療中にsoftSTARをオンまたはオフにします（治療装置の取扱説明書を参照） softSTARTがオンの場合、softSTARTの残り時間が分単位で表示されます。

アイコン	名称	説明
	治療分析の印刷	<p>最後の夜間治療に関する治療分析がすべてのモードで表示され、関連する呼吸パラメータ、呼吸障害、および漏れが、各圧力/圧力範囲に応じて最後の夜間治療の経過に沿って詳細に可視化されます。</p> <p>治療開始後、治療分析ボタンがsoftSTARTボタンに変わります。治療を終了すると、このボタンは元に戻ります。</p>

3 使用方法

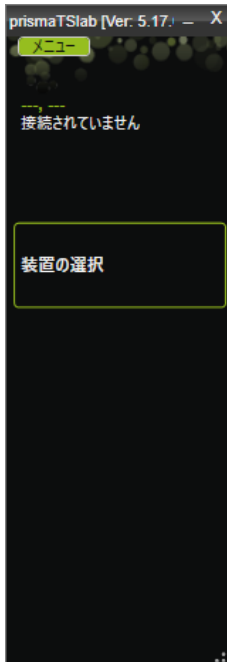
3.1 prismaTSlabの起動

前提条件

- ✓ 治療装置はLAN経由でPCに接続されています（取扱説明書prismaTSを参照）。（prisma HUBモジュールを使用する場合は取扱説明書prisma HUBconfigを参照）。
 - ✓ SOMNO装置のみ：治療装置はUSB変換ケーブル経由でPCに接続されています（prismaTSの取扱説明書を参照）。
1. プログラムのアイコン  をダブルクリックします。
 2. 1:1接続が設定されている場合（[\(参照: 患者室への固定割り当ての設定（オプション） \[▶ 4\]\)](#)）は、メインウィンドウが表示されます。



3. 1:1接続が設定されていない場合はスタートウィンドウが表示され、治療装置を選択できます。



i 設定は治療装置またはソフトウェアから行うことができます。治療装置でパラメータを設定すると、prismaTSlabのユーザーインターフェースはロックされます。

- 別の装置を同時にリモートコントロールするには、もう一つのprismaTSlabアプリケーションを起動します（[参照: prismaTSlabの起動 \[▶ 12\]](#)）。

3.1.1 オンラインヘルプ/ユーザーマニュアルの閲覧

- F1キーを押します。代替手段：メニュー>ヘルプを選択します。

PDF形式のユーザーマニュアルは、インストールメディアのManualsフォルダ、およびハードディスクのインストールパスにあるManualsフォルダ内に保存されています。オンラインヘルプと同じ内容です。

3.1.2 ユーザーインターフェースの言語の選択

ユーザーインターフェースは、さまざまな言語に対応しています。

- メニュー>言語変更を選択します。
- 希望の言語を選択します。遅くともソフトウェアを再起動した時点で、選択した言語が使用可能になります。

3.1.3 圧力単位を選択

表示されている圧力値は、さまざまな単位に対応しています。

1. メニュー>オプション>設定>画面を選択します。
2. 任意の圧力単位を選択します。

3.2 治療装置の手動選択

1. 装置の選択を選択します。
2. 1:1接続が設定されていない場合（参照: 患者室への固定割り当ての設定（オプション）▶4))は、希望する治療装置を手動で選択します（メニュー>装置の選択）。



3. 接続されているすべての治療装置は、自動的にウィンドウ装置の選択に表示されます。
4. 希望の治療装置や装置に割り当てられている患者に関するさらなる情報を取得するには、リストから該当する装置を選択してください。
シリアル番号とファームウェアバージョンは、上部の情報バーに表示されます。
選択した治療装置がすでに患者に割り当てられている場合、その患者のデータが表示されます。
5. 装置を設定に反映させるには、**選択**を選択します。代替手段：リスト内の装置をクリックします。

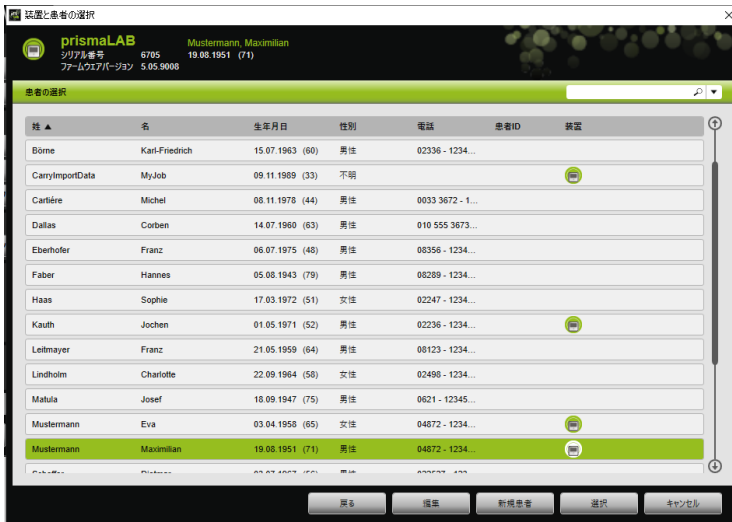
3.3 患者の選択

3.3.1 治療装置を患者に割り当てる

選択した装置を患者に対して設定するために、その装置を患者に割り当てることができます。

前提条件

- ✓ 治療装置が選択されているか ((参照: 治療装置の手動選択 [▶ 14]))、1:1接続で自動的に接続されていること ((参照: 患者室への固定割り当ての設定 (オプション) [▶ 4]))。
1. ウィンドウ装置の選択 > 患者リストを選択します。代替手段：メニュー > 患者リストを選択します (1:1接続の場合はこのオプションのみ可能)。



2. 別の既存の患者を選択した装置に割り当てるには、該当する名前をダブルクリックします。代替手段：該当する名前を選択し、**選択**を選択します。
3. 患者がまだ存在していない場合は新規作成します ((参照: 新規患者の作成 [▶ 15]))。

3.3.2 新規患者の作成

前提条件

- ✓ 治療装置が選択されているか ((参照: 治療装置の手動選択 [▶ 14]))、1:1接続で自動的に接続されていること ((参照: 患者室への固定割り当ての設定 (オプション) [▶ 4]))。

1. ウィンドウ装置の選択 > 患者リストを選択します。代替手段：メニュー > 患者リストを選択します（1:1接続の場合はこのオプションのみ可能）。
2. 選択患者を作成します。

3. 新規患者のデータを入力します。*マークの付いた「姓名」および「生年月日」の欄は必須項目です。年齢は生年月日から自動的に計算されます。
4. 優先電話番号を保存するには、電話番号のフィールドを選択し、標準として指定を選択します。のアイコンは、優先電話番号を示しています。優先電話番号は、prismaTS情報バーとレポートに適用されます。
5. 入力情報を保存します。

3.3.3 患者データの編集

前提条件

- ✓ 治療装置が選択されているか（参照: 治療装置の手動選択 [▶ 14]）、1:1接続で自動的に接続されていること（参照: 患者室への固定割り当ての設定（オプション [▶ 4]））。
1. ウィンドウ装置の選択 > 患者リストを選択します。代替手段：メニュー > 患者リストを選択します（1:1接続の場合はこのオプションのみ可能）。

2. 既存の患者を選択するには、患者の氏名を選択します。
3. 患者のデータを編集するには、編集を選択します。

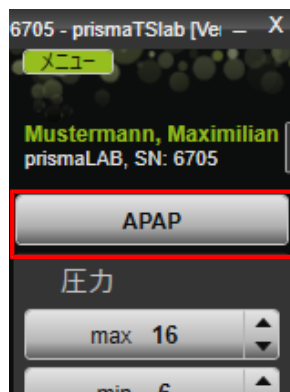
4. 患者のデータを編集します。
5. 入力情報を保存します。


3.4 治療設定の実行

- 各治療モードで設定可能な治療パラメータについては、治療装置の取扱説明書をご覧ください。
- ユーザーインターフェースのメインウィンドウで、最も重要な治療設定を行うことができます。ウィンドウ**治療設定**で治療設定を行うことができます。
- 治療設定は、スタンバイ状態または治療実行中に設定し、治療装置に転送することができます。治療中は、数回の呼吸にわたって治療圧を新しい値に段階的に調整されます。

3.4.1 治療モードの選択

接続された治療装置で提供されている治療モードのいずれかを選択することができます。



- 治療モードのリストから、目的の治療モードを選択してください。治療モードが切り替わると、あらかじめ設定されている治療パラメータが自動的に変更されます。
感嘆符**!**は、変更されたパラメータを示しています。
- 変更を治療装置に転送するには、**適用**を選択します。
- 変更を破棄し、治療装置を現在の装置設定に戻すには、**更新/リセット**  を選択します。

3.4.2 治療プログラムの設定 (WM110TD/WM120TDのみ)

最大3つの治療プログラムを設定できます。例えば患者が日中に夜間とは別の治療設定を必要とする場合、患者が自分で治療プログラムを切り替えることができます。

- メニュー** > **治療設定**を選択します。

2. **プログラム**を選択し、目的のプログラムを有効にします。
3. メインウィンドウで目的のプログラムを選択します。
4. 必要に応じて：設定（モード、パラメータ、アラーム）を行います。

3.4.3 拡張治療モードを表示または非表示にする（prismaLABのみ）

prismaLAB治療装置では、治療モードリストから、利用可能なすべての拡張治療モード（(30)と付記）を表示または非表示にすることができます。

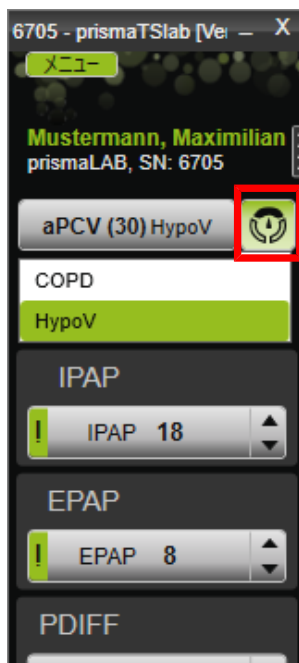
1. 拡張治療モードを表示または非表示にするには、**メニュー>オプション>prismaLABの目標換気量を含む詳細設定換気モードを表示**を選択します。
2. 拡張治療モードを表示または非表示にするには、チェックボックスをオンまたはオフにします。
3. 変更を適用するには、prismaTSlabを再起動します。



3.4.4 SCOPE（治療目標）の選択（WM100TDのみ）

治療モードAcSV、S/T、autoS/T、S/T (30)、autoS/T (30)、aPCV (30) では、あらかじめ設定された治療目標を選択できます。

この治療装置は、特定の圧力および治療パラメータを自動的に適切な開始値に設定します。これにより、多くの患者において、個々のパラメータを最適化する複雑で手間のかかる作業が不要になります。特別なニーズがある場合は、パラメータを個別に調整することも可能です。

すべてのモードでSCOPEをご自身で定義および作成できます（[\(参照: SCOPE（治療目標）の作成 \[▶ 22\]\)](#)）。




1. SCOPEのリスト  から、目的の治療目標を選択します。
治療モードのリストにこのSCOPEが表示されます。
2. 変更を治療装置に転送するには、適用を選択します。
3. 変更を破棄し、治療装置を現在の装置設定に戻すには、更新/リセット  を選択します。

3.4.5 治療パラメータの設定

選択した治療モードの最も重要な治療パラメータが画面に表示されます。



1. 値の隣にある矢印ボタンで値を選択して変更します。代替手段：フィールドを選択し、キーボードから値を入力します。
2. 変更後は入力フィールドを終了します。**適用**のボタンが選択可能になります。
3. 変更を治療装置に転送するには、**適用**を選択します。
4. 変更を破棄し、治療装置を現在の装置設定に戻すには、**更新/リセット**  を選択します。
5. **メニュー** > **治療設定**を選択します。



6. 値の隣にある矢印ボタンで値を選択して変更します。代替手段：フィールドを選択し、キーボードから値を入力します。
7. 変更を治療装置に転送するには、**OK** oder **適用**を選択します。
8. 設定されているパラメータを破棄するには、**キャンセル**または**リセット**を選択します。

3.4.6 SCOPE（治療目標）の作成

すべてのモードで治療目標をご自身で定義および作成できます（WM100TDタイプでファームウェアバージョン4.05以降の装置のみ）。これにより、多くの患者において、個々のパラメータを最適化する複雑で手間のかかる作業が不要になります。特別なニーズがある場合は、パラメータを個別に調整することも可能です。

1. **メニュー** > **治療設定**を選択します。
2. 希望するSCOPEの設定を行います。



3. 現在表示されている換気パラメータをSCOPEとして保存するには、**SCOPE**を選択します。
4. SCOPEに一意的な名前を付けます。
SCOPEが保存されます。
5. SCOPEを治療装置に転送するには、**適用**を選択します。
6. ユーザー定義のSCOPEを変更するには、ウィンドウ**治療設定**のフィールド**SCOPE**でSCOPEを選択し、設定を調整します。
7. ユーザー定義のSCOPEを削除するには、ウィンドウ**治療設定**のフィールド**SCOPE**でSCOPEを選択し「SCOPEを削除」を選択します。

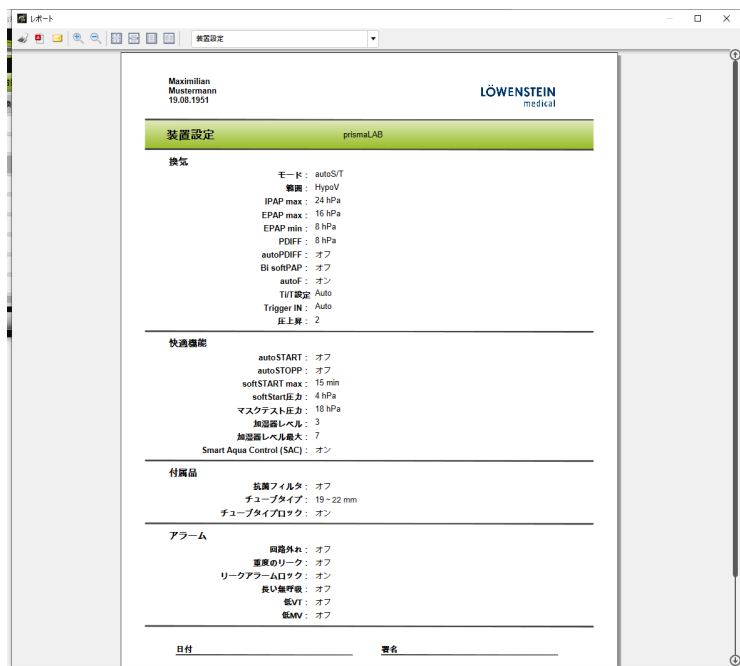
3.4.7 レポートの印刷

治療データをさまざまなレポートに出力し、まとめてわかりやすく保存、印刷またはEメールで送信することができます。



入力された注意事項や規定文は、prismaTS/prismaTSlabには保存されず、レポートにのみ出力されます。

1. **メニュー** > **治療設定**を選択します。



2. **印刷...**を選択します。
3. レポートをPDFファイル形式で保存するには、**PDF形式で保存 (Ctrl+E)**を選択します。
4. レポートをPDFファイルとしてEメールで送信するには、**メールとして送信**を選択します。**メールとして送信**の機能は、MAPIをサポートしているEメールプログラムのみで実行することができます (Microsoft® Outlookなど)。

3.4.8 治療プロトコルの印刷

治療プロトコルには、滴定夜に発生したすべての事象（アラーム、イベントなど）が表形式で記載されています。特定のタイプのイベントのみを表示するには、タイプをフィルタリングします。


1. 信号表示で**治療プロトコル**を選択します。
2. 選択したタイプのイベントのみを治療プロトコルに表示させるには、**フィルタ**を選択します。
3. 希望のイベントタイプを選択します。
4. **治療プロトコル**を選択します。
5. 治療プロトコルを印刷するには、**印刷**を選択します。

3.5 治療の開始・終了


前提条件

- ✓ 治療装置が選択されているか（[参照: 治療装置の手動選択 \[▶ 14\]](#)）、1:1接続で自動的に接続されていること（[参照: 患者室への固定割り当ての設定（オプション） \[▶ 4\]](#)）。

1. 治療を開始するには、電源ボタン  を選択します。

治療中、このボタンは緑色になります： .

2. 治療を終了するには、電源ボタン  を選択します。

スタンバイ状態では、このボタンはグレーになります： .



治療開始後、治療分析ボタンと治療プロトコルボタンがsoftSTARTボタンと加温加湿器ボタンに変わります。治療を終了すると、これらのボタンは元に戻ります。


3.6 加温加湿器をオン/オフ切り替え


WM100TDタイプ


加温加湿器は、治療を開始すると自動的にオンになります（[参照: 治療の開始と終了 \[▶ 25\]](#)）。

加温加湿器内の水が治療開始時に希望の温度に達するように、加湿器を予熱することができます。加温加湿器は予熱後45分経過すると自動的にオフに切り替わることにご注意ください。

前提条件



- ✓ 治療装置がスタンバイモードであること。
- ✓ 加温加湿器が治療装置に接続され、水が入っている（使用している付属品の取扱説明書に従ってください）。
- ✓ 加湿レベルが表示されます .

1. 加温加湿器の電源を入れるには  を選択します。

加温加湿器が稼働している場合、このボタンは緑色になります： .

2. 必要に応じて：加湿レベルを設定してください（メニュー > 治療設定 > 快適機能）。

3. 加温加湿器の電源を切るには  を選択します。

4. 加温加湿器の電源がオフになります。加温加湿器がオフになっている場合、このボタンは緑色になります：。
5. 呼吸用加湿器内の水位が低すぎると、治療装置によって加温加湿器の電源が自動的に切れます。ボタンはオレンジになります：.

WM090TD


1. **メニュー** > **治療設定**を選択します。
2. 加温加湿器を設定するには、目的の加湿レベルを選択します。
3. 加温加湿器の電源を切るには、レベル0を選択します。

WM110TD/WM120TDタイプ

1. **メニュー** > **治療設定**を選択します。
2. **快適機能**のエリア（加湿器のパラメータ）で、値**オン**または**オフ**を選択します。
3. 加湿レベルを選択します。

3.7 装置内の治療データ削除

治療装置に記録されている治療データは、治療装置のprismaTSlabで消去できます。

 消去する前に、治療装置からデータをソフトウェアprismaTSにインポートします（prismaTSのオンラインヘルプ/ユーザーマニュアルを参照）。これを行わなければデータは完全に消去され、元に戻すことはできません。

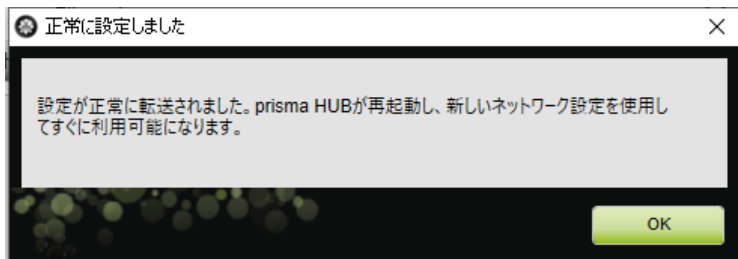
1. **メニュー** > **装置内の治療データ削除**を選択します。
2. **はい**で確定します。

3.8 PSGテストの実行

prismaPSGモジュールが正しく接続されているかどうかを確認するには、PSGテストを実行してください。

前提条件

- ✓ 治療装置は、prisma HUBモジュールと接続されている。
1. **メニュー** > **PSGテスト信号を出力中...**を選択します。



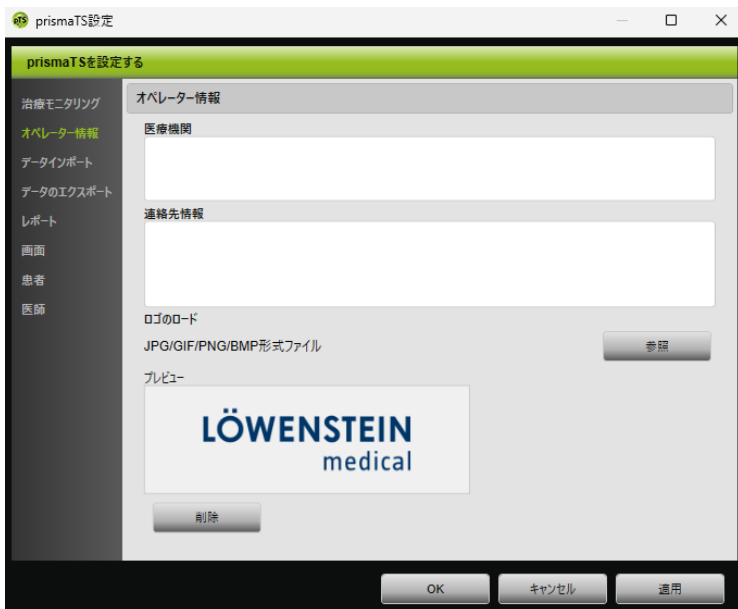
2. テスト信号の出力を開始。PSGテストを実行します。

3.9 レポートの作成

3.9.1 レポートのヘッダーの変更

レポートのヘッダーは個別に変更できます。この設定はすべてのレポートに適用されます。

1. メニュー > オプション > 設定を選択します。



2. オペレーター情報を選択します。
3. 運営者のデータを医療機関と連絡先情報のフィールドに入力します。これらのデータは、レポートのヘッダーに表示されます。





4. ロゴを読み込むには、**参照**をクリックしてロゴを選択します。このロゴは、レポートのヘッダーに表示されます。サイズは自動的に調整されます。
5. 入力情報を保存するには、**適用**を選択します。
6. 入力情報を保存してprismaTS設定のウィンドウを閉じるには、**OK**を選択します。
7. 入力情報を破棄して保存しない場合は、**キャンセル**を選択します。

4 付録

4.1 技術仕様

93/42/EEC (欧州医療機器指令) に基づく製品等級	IIa
IEC 62304に基づくソフトウェア・リスククラス	B

4.2 識別表示とアイコン

	取扱説明書に従うこと
	製品識別番号 (医療機器の統一製品記号)
	製品が医療機器であることの表示
	CEマーク (本製品が現行の欧州指令/規則に適合していることの証明)

4.3 適合宣言書

ここに、製造者であるLöwenstein Medical Technology GmbH + Co. KG (Kronsaalsweg 40, 22525 Hamburg, Deutschland) は、本製品が医療機器に関する93/42 EEC指令の関連規定に適合していることを宣言いたします。適合宣言書の全文は、Löwenstein Medical Technology社のホームページでご覧いただけます。

68077q 06/2025 JA

CE 0197

Manufacturer
 **Löwenstein Medical**
Technology GmbH + Co. KG
Kronsaalsweg 40
22525 Hamburg, Germany
T: +49 40 54702-0
F: +49 40 54702-461
www.loewensteinmedical.com



68077q

LÖWENSTEIN
medical